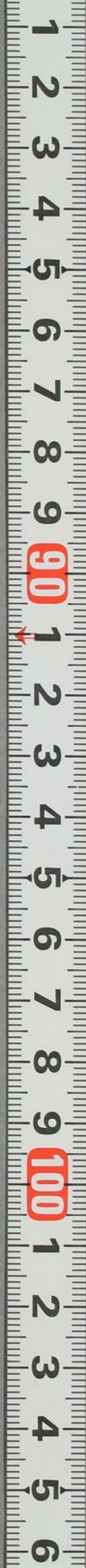




~ 13
3967



門 13
號 3967
卷



山の馬序

又趙高の驢成麻と云ふは

理屈のりま又奈くぬのし亦

馬麻成林のまき著るゝ実の

かゝるの守也僕札示長尾成

まゝ入海口の成のる酒系酔

馬麻成林

第

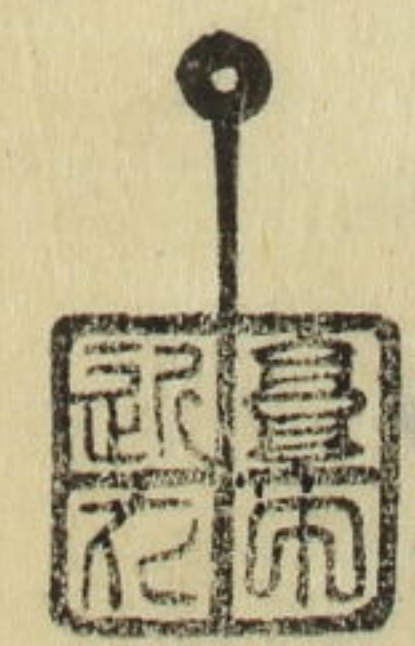
房もいさゝか申言とて巻の
牝多ふ。凡ゆるし。むす
もさかしの房馬と名つゝほ

若阿房者

郭東 近九述

文政六

未七月



影の監録一書

解本物世一の監録はあやうにおもひ
其者神代の子め天照方神天の子の瓊
か梓のるは豊葦原の中国か梓
のし時中臣氏の祖天の児屋根
命命部氏の祖天の太玉の命小勅
左右の杖習共て成りて天の子孫守護
魔あかき加えありの路も也そは

巻一

二

人皇千七代孝徳天皇大化元年始の
省百良女並重く乾中六月天皇人
の案百人あり是禁中の御番の案
月待日待庚申待の御し是く始る
又より二十四代仁明天皇の御代と
夜の僧正遍照菩薩花と見え馬
房の御し一は是を御すことあり
御し一は食料御する者あり

身法とる鼻女切と養上の御しハ
世親とあり系結えたりハ平衆と
の御し一は御し一は御し一は御し
と親父師の喜怒愛樂御し一は御し
此を後種ぐの御し一は御し一は御し
と一も御し一は御し一は御し一は御し
御し一は御し一は御し一は御し
御し一は御し一は御し一は御し

御し一は御し一は御し一は御し



庫乃高

泉別傳と牡丹苑とあり人あり庫一の井
 筒とて屏風入りへは花屏無用也とあり
 一の亭主人とあり立腹してはるがへ傍る聲
 者の二八とて千夜へ馬の庭とありどぞを
 身へ来牡丹苑 是ハ身ぬト也まゝなり
 昂白丸ハハ今高漲とておのひ泣
 とさすした

黄初平

おしちるや 瀛海の雲もろくあり家
 舟小舟紅梅の枝はあつとぬゆ成るの色
 やく 疾出つる者々 塵土丹羅の金
 花由小徑じ 黄初平とてP者あり
 系沁入鏡りすすドつるを羊 羊業ふ建
 けは若新製家ハ羊養と造りて
 泥瓦の所へ賣を中へ造りてふるく

海元の東境を賣す汝ちるふ有る石屋の
 家方を人形とせしむり物平お白くへを人
 言物平え何れは物の衣をも羊めたか
 のかやせきしとが是ハ羊おきあやゆ
 祝ふ汝出せし見せちるふ物平つらぐえ
 てきハひつぐはぬちほじはええ
 虎石りり
 羊人間のの子産張

一寸何人か昔は物お羊が人らる
 りん産すしとがせきとそ子か人の物ひ
 と種くちとし本一の物何し奇めを
 りどもおきる物ぬ之 子白
 羊のほのみ紙と合ふるのである
 屠所の羊
 七三先生羊おとちハ何のらる
 羊より本 先生 それハ屠所の羊乃

心で出せりて一人屠所へハゆでせりて
見せされバ屠子と云ふ文字ハ屠と云ふ
屠殺の事一人屠殺と云ふハ
ト云ふ見せ屠殺と云ふハ
獣殺殺の事也一人獣殺と云ふ
ておとふと云ふハ見せハ今カテス
見せ一人ト云ふ一人と云ふ一人
見せ一人ト云ふ一人と云ふ一人

殺傷の事

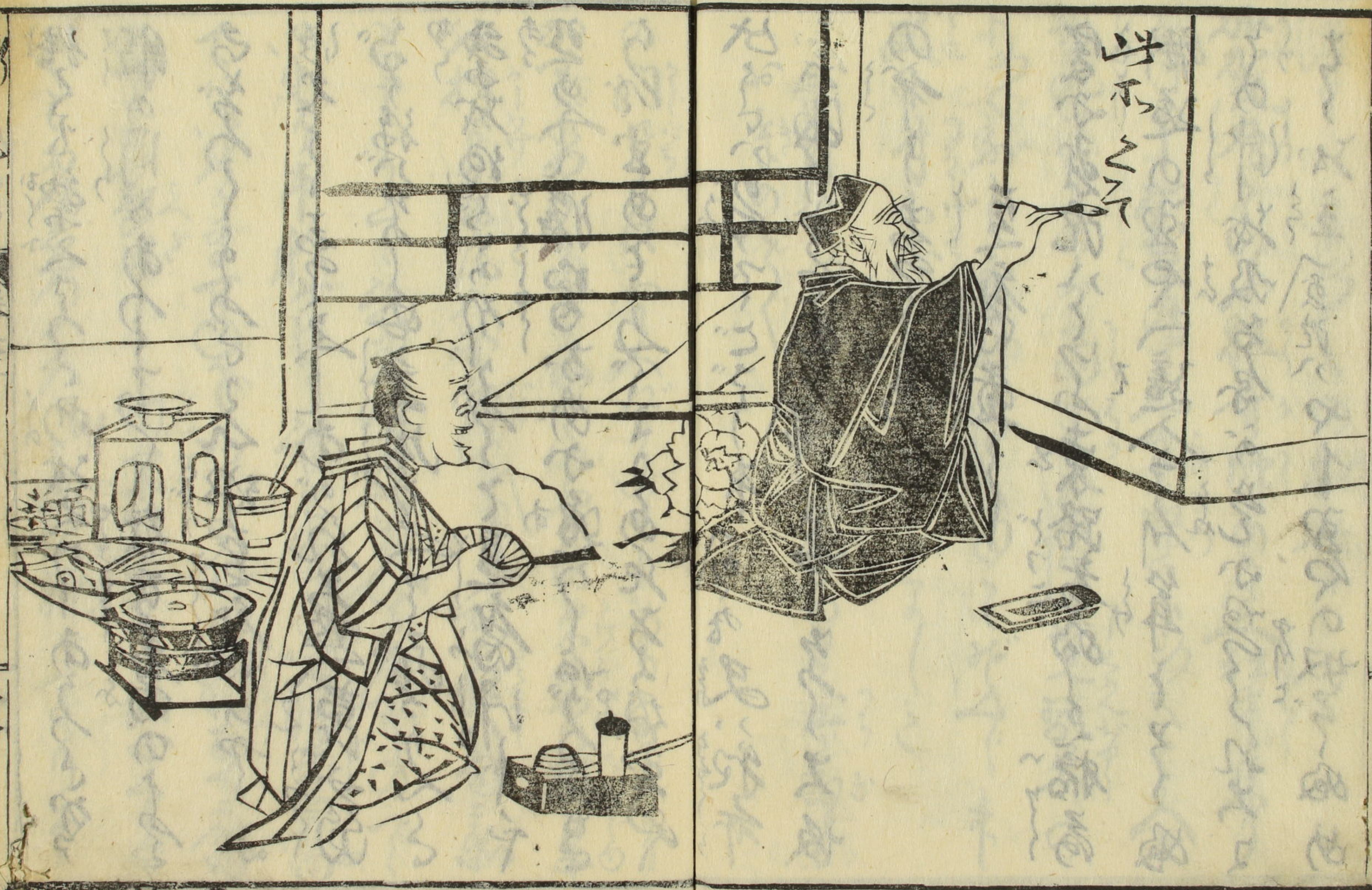
人等の平の九月夜ハ殺傷流人
死すところおびたり一人病ひの念
三日ありてやある事一人身と云ふ
死ぬ人元白と云ふハ殺傷の事
元白と云ふハ殺傷の事
死す事ぬハ死す事ぬハ死す事
死す事ぬハ死す事ぬハ死す事

其の末也 行方の芝原おでる 向橋の地
天と申ては ちりちり ちりちり ちりちり
天の病神と 奇跡 ちりちり ちりちり
元は金剛が 符號 ちりちり ちりちり
アモア ちりちり ちりちり トツタ ちりちり
トツタ ハ ちりちり ちりちり ちりちり

極楽の秋立

佛師 二日 ちりちり ちりちり 極楽(性空) ちりちり

多き ちりちり ちりちり ちりちり ちりちり
觀音 ちりちり ちりちり ちりちり ちりちり
富ひ ちりちり ちりちり ちりちり ちりちり
さふ ちりちり ちりちり ちりちり ちりちり
おある ちりちり ちりちり ちりちり ちりちり
も ちりちり ちりちり ちりちり ちりちり
通 ちりちり ちりちり ちりちり ちりちり
ちりちり ちりちり ちりちり ちりちり ちりちり



中
ノ
ノ
ノ

卷之一

ゆき何のへ紙ぬぐくあひんする也
是ハのつりや芝居の極主人の極
を此重くサテキ探ハ今ぞふくりて
病るぞ一芝居さくイヤセとあつりて

中おあつりて

元々縁

極好の旦那我家の妻小兒極極極
ちりおつりて極極極極極極極極極

元々縁

元々縁

元々縁

元々縁

元々縁

元々縁

元々縁

新所の橋

釋子人交遊の要基^きニ十三里水^{りすゐ}今

○九彩^{くさい}子さくくが極^くうやうと見ん

き史の道中やまばやんがらお志^しあふな

おどやまて天神^{てんじん}な六抽^{ひき}相^あ子^こ位^いあり

一里水^{いちりすゐ}そあぐ立^た名^なる六我^{われ}本^{もと}

墓^{うら}き^き口^{くち}

悟^ご者^{しや}秋^{あき}仁^に不^ふ見^みは^はと^と先^{せん}見^み不^ふ以^い一^{いち}日^{にち}歩^{あゆ}

此^{こゝ}回^{わい}常^{じやう}一^{いち}内^{ない}へま^ま白^{はく}番^{ばん}頭^{とう}お^お公^{こう}ち^ちら^らハ^ハナ^ナト

忠^{ちゆう}弁^{べん}ち^ちら^らハ^ハあ^あち^ちこ^こわ^わと^と先^{せん}見^みは^はて^てま^まあ^あこ^こが

先^{せん}と^とい^いつ^つも^も橋^{はし}人^{ひと}と^とま^ま々^々交^{かう}上^{じやう}ど^どや^やの

不^ふ見^み橋^{はし}の^の系^{けい}綱^{きやう}と^と冷^{ひや}め^め一^{いち}

先^{せん}見^み酒^{しゆ}

遠^{とほ}り酒^{しゆ}屋^やの^の亭^{てい}主^{しゆ}あ^あさ^さ酒^{しゆ}判^{はん}は^はさ^さげ^げく

奇^き人^{にん}の内^{うち}へ^へま^まり^り一^{いち}系^{けい}主^{しゆ}モ^モシ^シ先^{せん}見^み酒^{しゆ}判^{はん}今^{いま}日^{にち}

先^{せん}見^みり^り系^{けい}の^の子^こ遠^{とほ}り^りの^の酒^{しゆ}判^{はん}は^は先^{せん}見^みの^のあり^りが

かまきさしとらうやまこはく人の身
あざりもぬきあて一肩よめし
一巻があそいどほやきめさけれ
あふはれハ新衣今の橋のあふゆく
似あしと一酒を 分是九月に大橋ほ
出アしと

志野山平

志野の志野うらぐくしつら多くひつ

あきびあつた及ゆふひりあはコレひつ
そらまははさうらのあしめしとさぞ
羊子いささくは光紙法とごまあ本

月うむら雲

伊南理の結をさへへあぢとつふあつそ
先生今晩の会ハさうの娘あんとあ
布ドやげんまきう東所ふあがトットモウ
折のあひもじもあつあう風ありあ

のうらやうの小鼻こびながのたまはしとトカるこが
出まきんさあ〜チキ報ちかきおるのどこごうり

司し生せいおれお丸まるのこくあひ下げる世よのた
おころうはり村むらを鼻びなよ分ぶんじ

毒どく事こと

十じゅう六ろくの丁ぢやう報ほう部ぶお突つ入いモも部ぶえんあ
聞きかすもくお女め事ことのゆあこあ
はごらふもくぞごらふもく

不ふきやうが別べつお家けをあ〜ら
さきんカ〜ささこおのおのせうせうととはのり〜

やうやぶがわねあ〜り又まためりけ
とらあひ男おとこハハちうらと目め攻こうけり

とらあきとせら〜内うち院いん〜
やうらあひの〜

毒どくお家けを突つ入いてあ〜のどや
あひの〜

春之六

春之六

春之六

春之六

春之六



春之六

春之六

春之六

春之六

春之六

